

このことについて、栃木県立学校における学校評価実施要綱第5条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 自己評価について

(1) 本年度の重点目標

○重点目標

- ①学習意欲の高揚
- ②基本的生活習慣の確立と自己有用感の醸成
- ③進路指導の充実と社会人基礎力の育成
- ④地域から信頼され、選ばれる学校づくり
- ⑤チームとしての教育力を高め、協働する組織づくり

(2) 評価項目

- ①学習指導 ②基本的生活習慣の確立 ③進路指導 ④特別活動・キャリア教育 ⑤参画・経営

(3) 評価の観点、評価基準等

①学習指導

- ・チャイム to チャイムを意識し、学習の意義を理解させ、日々の授業を大切にしている。
- ・「朝の学習」を充実させ、学びの集団を形成している。
- ・学習環境を整えるために5S運動を推進し、身の回りの整理・整頓・清掃を徹底している。
- ・年間計画やシラバスに沿った学習指導を行い、主体的・対話的で深い学びの実現を目指している。
- ・研究指定事業を活用し、指導と評価の一体化を進めるなど授業改善や教材研究に努めている。
- ・生徒の能力や実態に合わせた個別指導を充実させている。

②基本的生活習慣の確立

- ・あいさつを励行させ、正しい言葉遣いが身に付いている。
- ・交通マナーや携帯電話マナーの向上などに取り組み、規範意識が身に付いている。
- ・学校行事や生徒会活動、部活動などをとおして自主性・自立性を育む。
- ・自分は大きな存在で、社会の重要な構成員であることを自覚させている。
- ・人権教育や主権者教育を推進し、いじめや差別のない社会の構築に寄与させている。
- ・教育相談を充実させ、安全安心な教育環境を確保し、予防的な生徒指導に努めている。

③進路指導

- ・とちぎの高校生じぶん未来学等を通して、自分の性格や適性など自己理解に努めている。
- ・学年に応じたキャリア教育を充実させ、生徒一人一人の進路実現を図っている。
- ・「社会人基礎力」（経済産業省2006年提唱）は職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力であり、具体的には「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力をさまざまな教育活動の中で育成している。

④特別活動・キャリア教育

- ・出前授業や中学校訪問などを活用し、中学生から選ばれる学校を目指している。
- ・地域や関係機関との連携を充実させ、学校ホームページでタイムリーに情報発信している。
- ・自己評価及び学校関係者評価に関して、目標と手段を区別しながら教育活動を検証している。
- ・内側にも開かれた学校評価を推進し、課題解決に向けた情報共有に努めている。

⑤参画・経営

- ・ハウ・レン・ソウ(報告・連絡・相談)を重視し、教育的愛情と使命感を持って指導している。
- ・風通しの良い職場環境づくりを心掛け、常に教育活動の改善を図っている。
- ・全ての教育活動の基盤となる安全確保を重視している。
- ・意欲的に教職員としての資質・能力の向上に取り組み、充実した教職員生活を目指している。

(4) 評価実施時期及び実施方法

評価実施時期	実施方法（内容）
5月～10月	アンケートの設問作成（マークシート方式）
11月頃～	アンケートの実施（生徒、保護者、職員 同時配布）および集計
1月上旬	アンケートの結果検討
1月中旬	自己評価の実施および集計
1月下旬	自己評価の検討および問題点・改善策の洗い出し
1月下旬	実施する改善策の検討
1月下旬～	学校関係者評価（学校評議員会）の実施（書面・郵送による実施）
2月中旬	改善策の実施
3月上旬	実施した改善策の評価

(5) 評価結果の公表時期及び公表の方法等

1月下旬頃、学校関係者評価委員会（学校評議員・PTA会長）において自己評価並びに問題点・改善策を公表し、助言を受ける。自己評価ならびに問題点・改善策は、PTA新聞に公表する。

また、ホームページ上でも公開し、PTA総会等でも適宜報告する。

(6) 評価結果

令和3(2021)年度 学校評価アンケートのまとめ(別紙)

集計結果を記号化し、各設問の回答「はい」と「どちらかと言えばはい」の合計の割合(%)を「A」は80%以上、「B」は60%以上、それ未満は「C」とした。

(7) 中間的な評価を実施し見直しを行ったこと

1月の職員会議で、アンケートの集計結果を公表した。

2月の会議に向けて、集計結果に伴う「問題点並びにその改善案」の検討時期を設けた。

(8) 評価結果に基づく今後の改善方策等

校務分掌の各部・係を中心に、関係するそれぞれの課題とその対応策を継続して取り組み改善につなげる。

2 学校関係者評価について

(1) 評価組織（評価者）

・学校関係者評価委員（学校評議員）

(2) 評価実施時期及び実施方法

1月下旬頃に学校関係者評価を実施するなか、アンケート結果、職員の自己評価、問題点と改善策を公表し、それに対する学校評価委員会での検討結果（分析・改善方策）を報告して、助言・評価を受ける。

(3) 評価結果の公表時期及び公表の方法等

年度末頃に、学校関係者評価とそれに関連した改善点を検討し、ホームページ上で公開する。また、PTA総会等でも適宜報告する。

(4) 評価結果

令和3(2021)年度学校評価アンケート結果（別紙）

(5) 評価結果に基づく今後の改善方策等

校務分掌の各部・係を中心に、関係するそれぞれの課題とその対応策を継続して取り組み改善につなげる。

3 学校からの情報提供について（学校評価に係る取組を除く）

(1) 提供内容

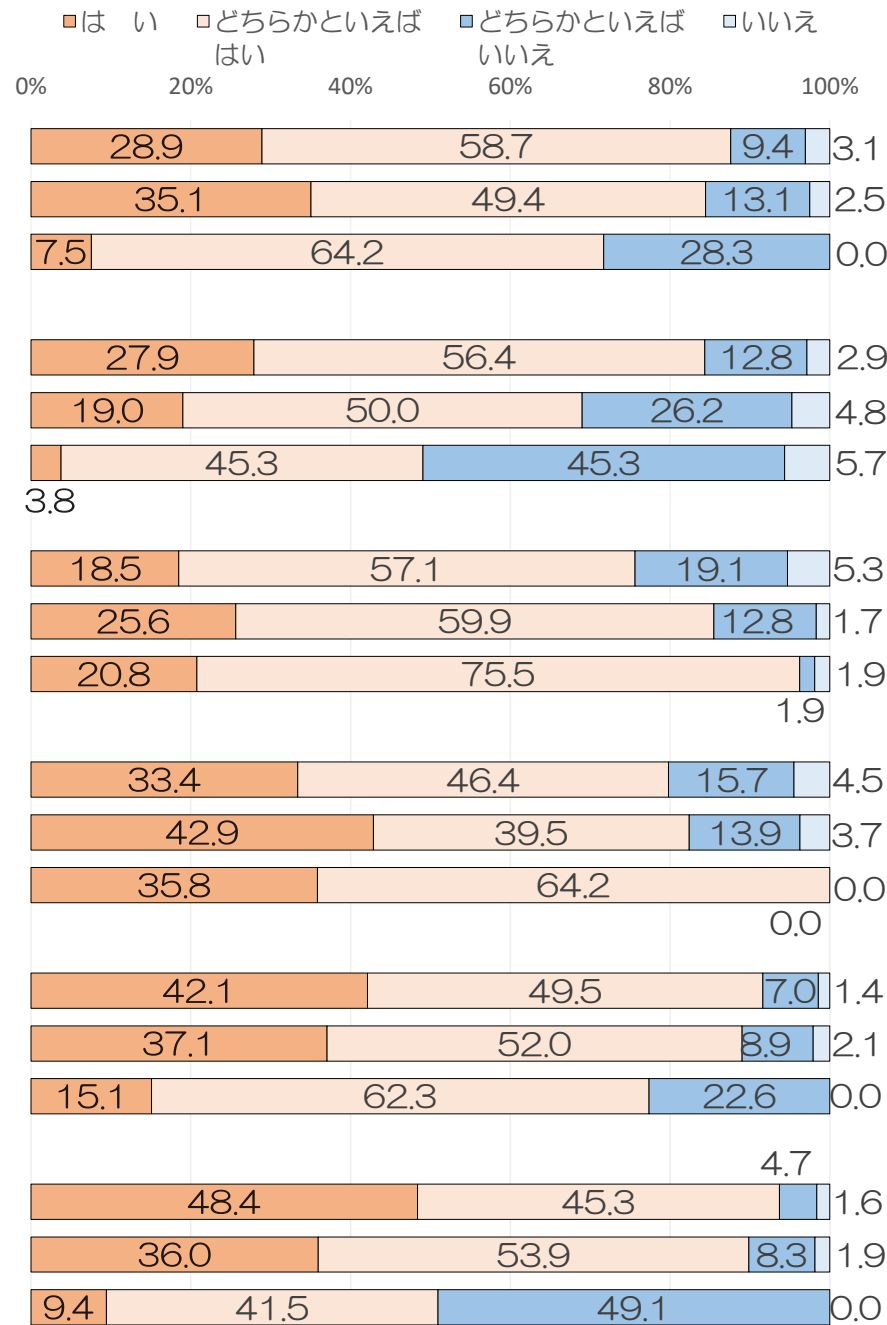
- ①学校行事・年間計画・月間計画等
- ②教育活動成果の発信（資格取得・部活動大会報告等）
- ③進路情報
- ④教育活動内容の発信
- ⑤入学者選抜情報の提供

(2) 提供方法

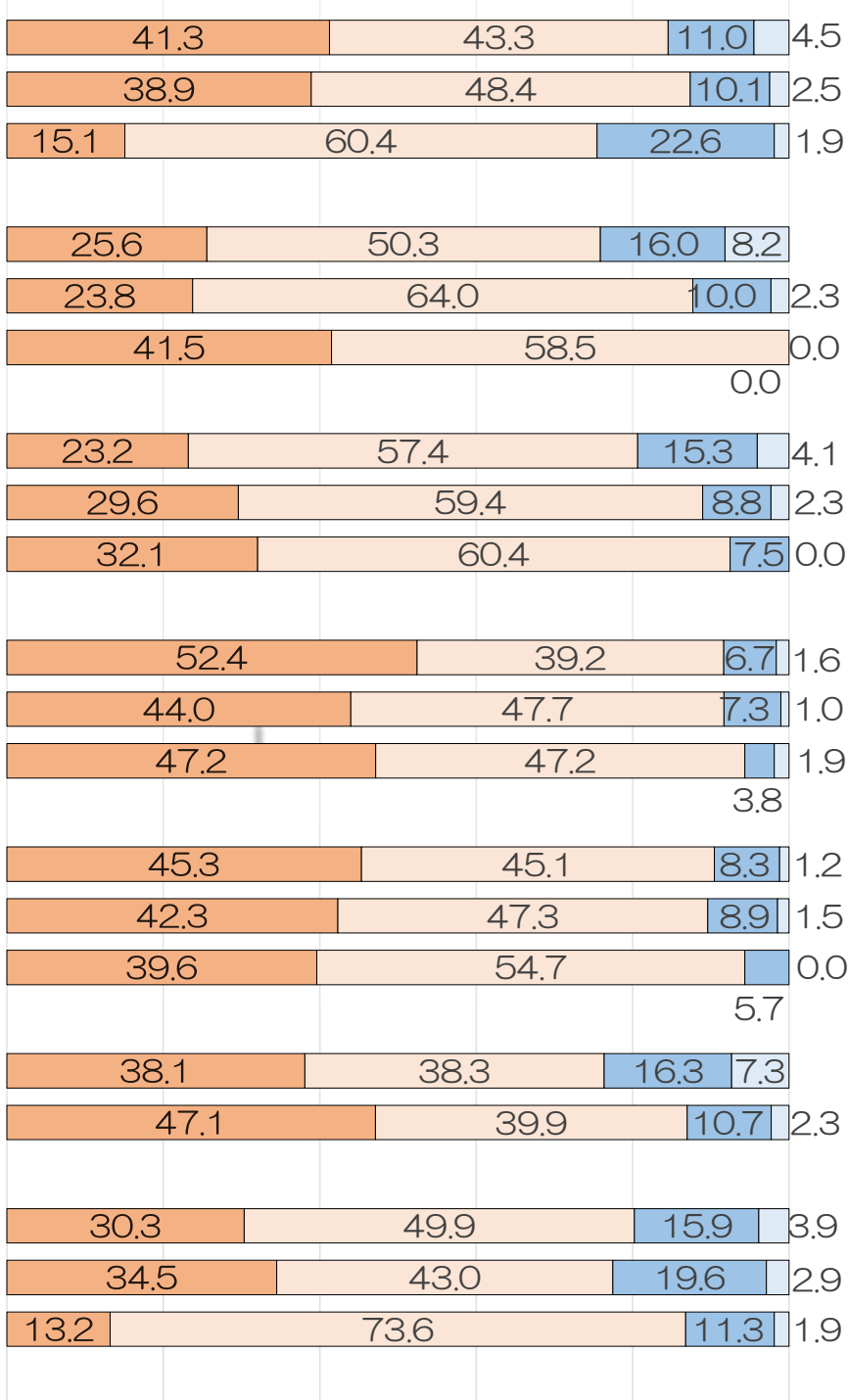
- ①生徒や保護者への配付資料に加え、ホームページを活用し、生徒・保護者に最新情報を広報に発信する。
- ②わたらせケーブルテレビ、両毛新聞、商工会議所ニュース等を活用して、学校近隣を中心に発信する。
- ③地域の回覧板等を利用した情報提供を行う。
- ④中学校訪問や校外施設を利用した広報活動の際、情報提供を行う。

教育目標	令和3(2021)年度 学校評価アンケート結果 回答数(生徒:492、保護者485、職員53)			はい	どちらか いえら ばか	どちら いえら ばか	いいえ	評価	学校評価	関係者評価
1 学習意欲の高揚	設問1	生	私は、学習の意義を理解し、日々の授業を大切にしている。	28.9	58.7	9.4	3.1	A	A	A
		保	お子様は、学習の意義を理解し、日々の授業を大切にしている。	35.1	49.4	13.1	2.5	A		
		職	大半の生徒は、学習の意義を理解し、日々の授業を大切にしている。	7.5	64.2	28.3	0.0	B		
	設問2	生	私は、5S運動を推進し、身の回りの整理・清掃・整頓を徹底している。	27.9	56.4	12.8	2.9	A		
		保	お子様は、5S運動を推進し、身の回りの整理・清掃・整頓を徹底している。	19.0	50.0	26.2	4.8	B		
		職	大半の生徒は、5S運動を推進し、身の回りの整理・清掃・整頓を徹底している。	3.8	45.3	45.3	5.7	C		
	設問3	生	本校は、わかりやすい授業を行うために工夫をしている。	18.5	57.1	19.1	5.3	B		
		保	本校は、わかりやすい授業を行うために工夫をしている。	25.6	59.9	12.8	1.7	A		
		職	本校は、わかりやすい授業を行うために工夫をしている。	20.8	75.5	1.9	1.9	A		
	設問4	生	私は、資格取得に積極的に取り組んでいる。	33.4	46.4	15.7	4.5	B		
		保	お子様は、資格取得に積極的に取り組んでいる。	42.9	39.5	13.9	3.7	A		
		職	大半の生徒は、資格取得に積極的に取り組んでいる。	35.8	64.2	0.0	0.0	A		

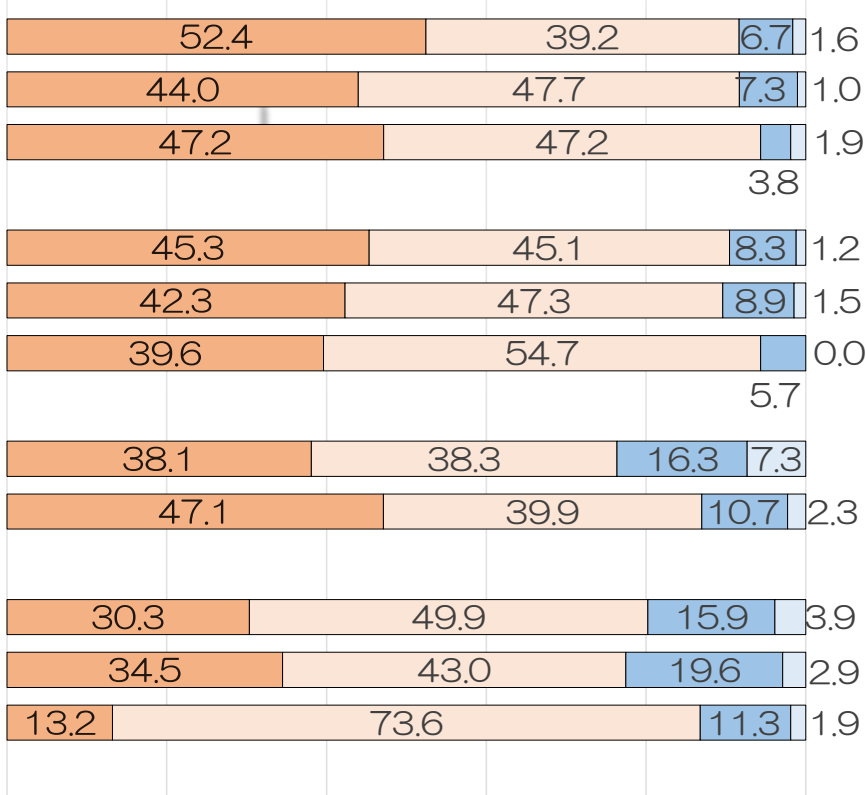
2 基本的生活習慣の	設問5	生	私は、挨拶を励行し、正しい言葉遣いを身に付けている。	42.1	49.5	7.0	1.4	A	A	A
		保	お子様は、挨拶を励行し、正しい言葉遣いを身に付けている。	37.1	52.0	8.9	2.1	A		
		職	大半の生徒は、挨拶を励行し、正しい言葉遣いを身に付けている。	15.1	62.3	22.6	0.0	B		
	設問6	生	私は、交通マナーや携帯電話マナーの向上に取り組み、規範意識を身に付けている。	48.4	45.3	4.7	1.6	A		
		保	お子様は、交通マナーや携帯電話マナーの向上に取り組み、規範意識を身に付けている。	36.0	53.9	8.3	1.9	A		
		職	大半の生徒は、交通マナーや携帯電話マナーの向上に取り組み、規範意識を身に付けている。	9.4	41.5	49.1	0.0	C		



確立と自己有用感の醸成	設問7	生	本校では、部活動や生徒会活動が活発に行われている。	41.3	43.3	11.0	4.5	A	↑	↑
		保	本校では、部活動や生徒会活動が活発に行われている。	38.9	48.4	10.1	2.5	A		
		職	本校では、部活動や生徒会活動が活発に行われている。	15.1	60.4	22.6	1.9	B		
	設問8	生	本校は、いじめへの気づきや対応に、真摯に取り組んでいる。	25.6	50.3	16.0	8.2	B		
		保	本校は、いじめへの気づきや対応に、真摯に取り組んでいる。	23.8	64.0	10.0	2.3	A		
		職	本校は、いじめへの気づきや対応に、真摯に取り組んでいる。	41.5	58.5	0.0	0.0	A		
	設問9	生	本校は、教育相談活動が充実している。	23.2	57.4	15.3	4.1	A		
		保	本校は、教育相談活動を充実させ、予防的な生徒指導に努めている。	29.6	59.4	8.8	2.3	A		
		職	本校は、教育相談活動を充実させ、予防的な生徒指導に努めている。	32.1	60.4	7.5	0.0	A		



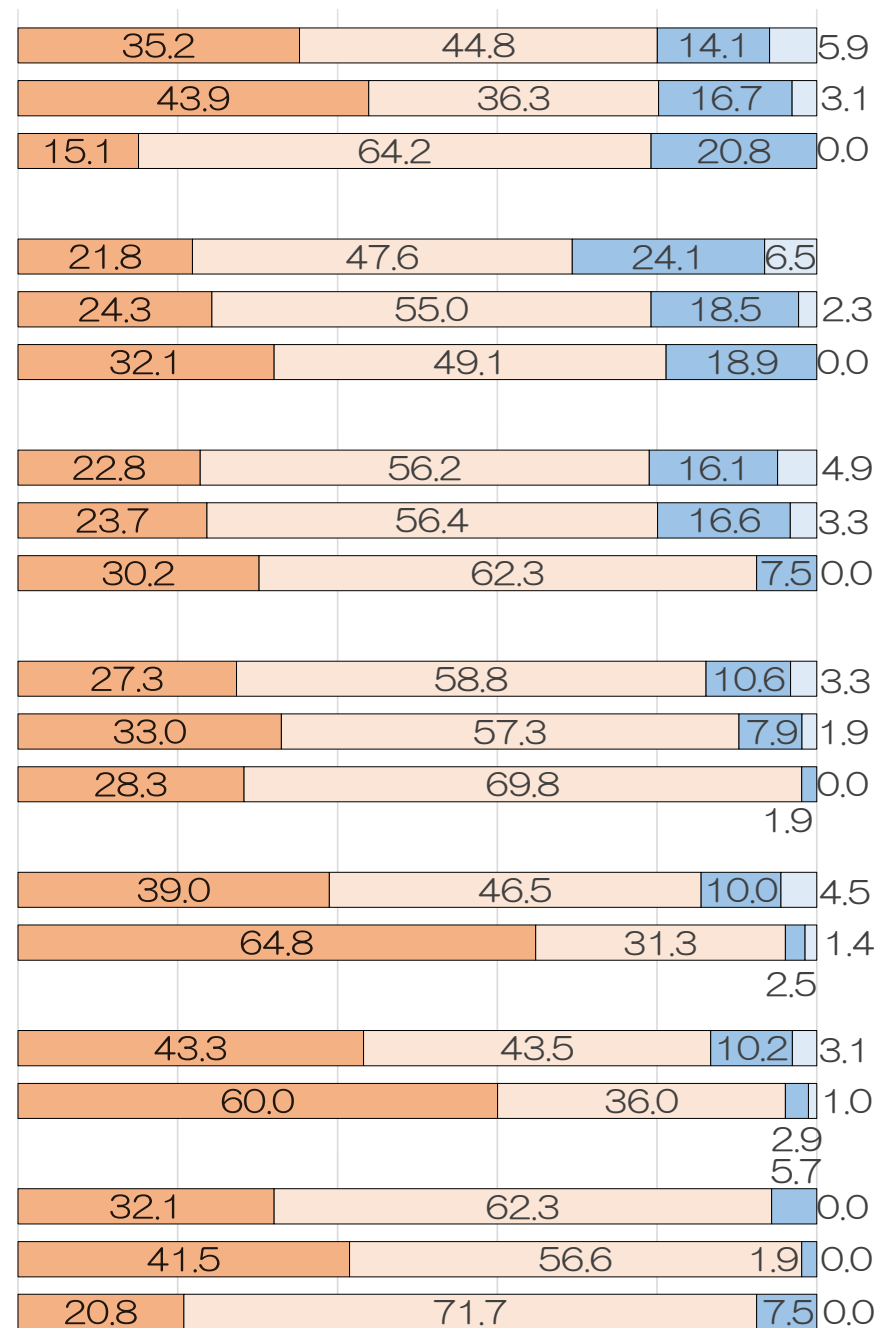
3 進路指導の充実と社会人基礎力の育成	設問10	生	本校の教員は、進路に関する相談に誠実に対応している。	52.4	39.2	6.7	1.6	A	A	A
		保	本校の教員は、進路に関する相談に誠実に対応している。	44.0	47.7	7.3	1.0	A		
		職	本校の教員は、進路に関する相談に誠実に対応している。	47.2	47.2	3.8	1.9	A		
	設問11	生	本校の教員は、生徒の早期進路決定に向け、適切に指導している。	45.3	45.1	8.3	1.2	A		
		保	本校の教員は、生徒の早期進路決定に向け、適切に指導している。	42.3	47.3	8.9	1.5	A		
		職	本校の教員は、生徒の早期進路決定に向け、適切に指導している。	39.6	54.7	5.7	0.0	A		
	設問12	生	将来のことについて、家族で話し合うことがある。	38.1	38.3	16.3	7.3	B		
		保	将来のことについて、家族で話し合うことがある。	47.1	39.9	10.7	2.3	A		
	設問13	生	私は、進路目標を持ち、その実現に向けて努力している。	30.3	49.9	15.9	3.9	B		
		保	お子様は、進路目標を持ち、その実現に向けて努力している。	34.5	43.0	19.6	2.9	B		
		職	大半の生徒は、進路目標を持ち、その実現に向けて努力している。	13.2	73.6	11.3	1.9	A		



4	設問14	生	私は、生徒会活動やHR活動、部活動や学校行事に積極的に参加している。	35.2	44.8	14.1	5.9	A	A	A
		保	お子様は、生徒会活動やHR活動、部活動や学校行事に積極的に参加している。	43.9	36.3	16.7	3.1	A		
		職	大半の生徒は、生徒会活動やHR活動、部活動や学校行事に積極的に参加している。	15.1	64.2	20.8	0.0	B		
	設問15	生	本校は、地域のボランティア活動や中学校・他の高校との交流が盛んである。	21.8	47.6	24.1	6.5	A		
		保	本校は、地域のボランティア活動や中学校・他の高校との交流が盛んである。	24.3	55.0	18.5	2.3	A		
		職	本校は、地域のボランティア活動や中学校・他の高校との交流が盛んである。	32.1	49.1	18.9	0.0	B		
	設問16	生	本校は、ホームページやパンフレット配布等で学校の情報発信を適切に行っている。	22.8	56.2	16.1	4.9	B		
		保	本校は、ホームページやパンフレット配布等で学校の情報発信を適切に行っている。	23.7	56.4	16.6	3.3	A		
		職	本校は、ホームページやパンフレット配布等で学校の情報発信を適切に行っている。	30.2	62.3	7.5	0.0	A		
	設問17	生	本校では、生徒・保護者および地域住民等への対応について、誠意を持って行っている。	27.3	58.8	10.6	3.3	A		
		保	本校では、生徒・保護者および地域住民等への対応について、誠意を持って行っている。	33.0	57.3	7.9	1.9	A		
		職	本校では、生徒・保護者および地域住民等への対応について、誠意を持って行っている。	28.3	69.8	1.9	0.0	A		
	設問18	生	私は、本校に入学して良かったと思う。	39.0	46.5	10.0	4.5	A		
		保	お子様を、本校に入学させて良かったと思う。	64.8	31.3	2.5	1.4	A		
	設問19	生	学校は安全で、安心して登校できる。	43.3	43.5	10.2	3.1	A		
		保	学校は安全で、安心して登校させることができる。	60.0	36.0	2.9	1.0	A		

※5	17	職	本校では、報告・連絡・相談を重視し、教育的愛情と使命感を持って教育活動に当たっている。	32.1	62.3	5.7	0.0	A	A	A
	18	職	本校は、常に安全確保を重視し、教育活動を行っている。	41.5	56.6	1.9	0.0	A		
	19	職	本校の教員は、教員としての資質・能力の向上に取り組み、常に教育活動の改善を図っている。	20.8	71.7	7.5	0.0	A		

※ 5 チームとしての教育力を高め、協働する組織づくり（職員のための設問）



学校評議員の皆様からの意見について

1 学校評価アンケートの結果についての意見

1-1 調査結果から感じられること

- 学習意欲・基本的生活習慣については、学校側との評点相違は、学校側が目標をもって意欲的に推進していることがわかり、あるべき結果であると感じました。
進路指導の評点は、学校側とのミスマッチがあり、進路についての学生側の思いとの相違は、就職後の離職に少なからず影響していると感じました。
- 教育目標の各項目とも、生徒、保護者、職員の評価が概ね一致しており、学校の良い評価として受け入れられます。
- 5 S活動や交通マナー等は、職員の評価がやや厳しくなってくるのは、致し方ないと思います。また、一評議員としての評価も、概ね一致しています。
- 学習意欲の向上では、生徒の回答が「わかりやすい授業」の工夫についてB評価でした。謙虚な姿勢で授業改善への取り組みが求められると感じました。
- 「いじめ」への気付きや対応に真摯に取り組んでいることにつきましてもB評価でありますので、生徒への誠意をもった早期対応が求められると感じました。
- 概ね良好な結果であると考えます。しかしながら、職員の皆さんと生徒・保護者の方々との乖離がある項目も散見され、設問2と設問の6では顕著に表れていますが、特に設問6の携帯電話のマナーについては、いわゆる年代ギャップや学校としての立場なども要因となっているものと思料します。
- 設問2の評価が生徒と職員の意識の違いが気になります。生徒は約30%が実行しているに対して職員は、3%しか実行できていないと判断している点です。設問6の評価も同様に生徒と職員の意識の差が気になります。

1-2 調査結果から本校で取り組んでいくべきこと

- 進路について、生徒とのコミュニケーションの向上
- 5 S活動や交通マナー等は、足利工業高校に限らず、高校生全般に言えることだと思いますが、今後の改善点になってくると思います。
- 各項目のA評価が下がらないように、そしてB評価又はC評価についてはA評価を目指す取り組みが重要と考えます。足利工業高校の「生徒の実態を把握し一人も落ちこぼれないように丁寧な関わりを実践している」この日々の実践の継続が大事であると考えます。
- 携帯電話のマナーについては、賛否両論あるものと思いますが、今や携帯電話は社会生活におけるツールとして幅広く定着しており、例えばゼロベースで生徒との意見交換を行うなど、新たなルールづくりに取り組むことも一考に値するものと考えます。
- 理想は、生徒と職員の意識を同じになっていくことが最も良いと思われます。
- 職員のCという評価の項目は、生徒への指導（アドバイス）を個人個人に対してもう少し心がけていただきたいです。生徒自身に将来とても大切であることを実感していただきたいので、必要とあれば、交通関係なら足利警察交通課から出張講座、5 S活動なら足利5 S学校からの出張講座など企画してはいかがでしょうか。

2 足利工業高校に関するアンケート結果についての意見

2-1 結果から感じられること

- 足利工業高校で学び、卒業した事を地域社会、地域企業に誇りにできる3年間の充実した学生生活を送っていると感じました。
- 貴校のイメージは、どの調査協力機関も良好であるので、継続してほしいと思います。特に身近で接する近隣、地域住民からは、交流の場になったり、高校生からは活躍の場になっていると思います。
- 地域住民、近隣住民、高等教育機関関係者、企業経営者からの調査において、自由記述欄の内容は、大事なご指摘があることを感じさせられました。
高等教育機関関係者からは、「長年、貴校の卒業生と接しており、大学での高等教育を受けるための工学的な考え方や捉え方が身についた学生が多い印象。貴校の教育の成果と考えている」という評価である。
企業経営者からは「素晴らしい」という評価を得ている。「生徒の7割程度が挨拶すると返事がある」と近隣住民の評価である。挨拶は人としての原点と考えている一人です。高校も大学も職に就いた時に活かされる教育が求められていることから礼儀挨拶の定着をさらに継続していただきたい。
- ものづくりの街足利を支える高校としての期待感が各企業のご意見から見て取れると思います。その反面、改善や変化を求めるご意見も数件あり、貴重なご意見でもありますので参考にすべきかと思います。
- 本校は、地域住民や企業からは、工業系の技術を身につけた生徒を期待していることがわかる。

2-2 本校の強みや弱み

【強み】

- 地域・近隣住民、地元企業からの信頼の厚さ
- 工業高校ということで、専門技術の修得と資格取得が強みであると考えます。
- 地域に根ざした活動が実践できており、地域でも育てられている生徒は幸せと感じます。地域と連携した実践活動は自分磨きとなります。教員に見られていないところの姿が本当の姿です。今行っている活動をさらに定着発展させ、もっともっと地域連携ができることを願います。
- 進路として、他校より就職に強く、卒業生は地域産業を支える役割を果たしていること。
- 県内でも歴史がある工業高校であること。
- 硬式野球、レスリング、卓球など伝統と全国的な活躍があること。
- 「工業系技術の習得」が強みかと思われます。

【弱み】

- 実業高校ということで、生徒が進学等を積極的に考えることができるとういと思ひます。頑張っている生徒が夢を諦めず挑戦してほしいです。
- 進学については、イメージがないこと。

- 工業高校としての言わば即戦力としての評価が高い一方、IT や理系に対する学力の向上や、現代社会に対応するための知識の習得が求められているものと思います。

2-3 本校が今後果たしていくべき役割

- 近隣・地域住民とのコミュニケーション
一般向け講座開講の活動は、是非実施し、学生のチャレンジ精神の向上や 様々な年齢層とのコミュニケーション能力の向上につながるとともに、近隣住民と共に能力UP できる有用な活動であると感じました。
- 将来、就職するにあたり、企業が期待する礼儀や規範意識を身に付けることや工業技術の習得など、継続して行うことが必要だと思います。
また、工業高校からより専門的な工業大学への進学するような進路指導、受験対応の取り組みも生徒の育成に繋がると思います。
今後の社会の動向もありますが、産業デザイン科のように、工業高校として新しい分野の工業技術の習得や、デジタル化やIT 技術の進化に対応できるような生徒の育成が必要になってくると思います。
- 資格取得及び進学率のさらなる向上。
生徒が第一希望の進路へ決定できる支援や、一人一人の生徒の実態を知り、見落とさない教育の実施。
- 足利工業高校で高校生活を過ごし、「よかった」と満足を感じる生徒・保護者が多く占める割合を目指す。
- 地域産業とものづくりの街足利に貢献するため、また支えとなるべくその役割を果たすべきと考えますが、ともすると昨今の若い方々は自立する力に欠けている様にも思えます。伊集院静さんの無頼のススメではありませんが、社会人の一つの要素として、他人に頼ることなく自らの力で責任を以て生きて行く。学校教育には馴染まないとも思いますが、例えばこの様な視点での教育というものも必要ではないかと私見ながら感じております。
- 20 年 30 年後も継続した足利の伝統産業を受け継いでいってほしい。ものづくりの街足利市の技術を身に付けてほしい。